

# 戸田工業株式会社 岡山サイト 環境活動報告書(2025年度)

作成日:2026年6月1日

1. 当サイトの概要
2. 当サイトの沿革
3. 品質・環境・安全衛生方針
4. 環境マネジメントシステムの状況
5. 環境活動計画の実績及び状況
6. 環境に関する規制遵守の状況
7. グリーン調達への取組み
8. 緊急事態への対応
9. 地域との交流

—— この報告書に関するお問い合わせ ——

岡山事業所 環境管理責任者

TEL:086-724-0526 FAX:086-724-1688

## 1. 当サイトの概要

サイトの範囲:戸田工業株式会社 岡山事業所

代表者名:井上 隆志(岡山事業所長)

所在地:〒709-3124 岡山県岡山市北区建部町小倉 822 番地  
TEL:086-724-0526 FAX:086-724-1688

事業概要:顔料用酸化鉄及び機能性酸化鉄の製造

事業規模:4,499トン(2025年度実績)

従業員数:44名(協力会社を含む) ※2026年3月31日

敷地面積:32,560平方メートル



## 2. 当サイトの沿革

- 1823年 岡山県後月郡西江原村(現:井原市)にて弁柄製造を開始。
- 1933年 11月 広島市横川町 3 丁目において戸田工業(株)を設立。
- 1954年 11月 吉備工業(株)と合併し、戸田工業(株)岡山工場として製造開始。
- 1967年 11月 JIS 表示認可工場として認可。(許可番号:667036 号)
- 1971年 12月 岡山工場乾式焼成法による弁柄の製造法を廃止し、小野田工場無公害湿式合成法による弁柄製造に切替。
- 1974年 10月 易分散弁柄&着色材料の生産を開始。(ED シリーズ)
- 1989年 10月 フェライト高純度酸化鉄の生産設備を設置。
- 1993年 4月 建材及び道路用着色材料の高分散化と自然色顔料に対応する EC シリーズの生産を開始。
- 1997年 7月 戸田工業(株)より分社独立(戸田ピグメント(株))
- 1999年 12月 ISO-9001 の認証取得。
- 2000年 5月 日本弁柄工業(株)の顔料部門と合併。
- 2005年 5月 カラーアスファルト用 CS-PHALT の生産を開始。
- 2013年 5月 ISO-14001 認証取得。
- 2021年 4月 戸田工業(株)と合併し、戸田工業(株)岡山事業所として再スタート。

### 3. 品質・環境・安全衛生方針

#### 1.方針

継続的改善活動を展開し、

- 1)顧客の信頼と満足を得る品質を提供する。
- 2)地域環境の保全に貢献する。
- 3)安心・安全な職場環境を築く。

#### 2.活動指針

- 1)顧客のニーズを的確に発掘及び把握して、迅速に実現していく。
- 2)法規制及び顧客を含む全ての利害関係者の要求事項を遵守する。
- 3)目標を設定し、重点項目として取り組むとともに、定期的に見直す。
- 4)パフォーマンス向上のためマネジメントシステムを継続的に改善する。
- 5)パフォーマンスを監視し、環境汚染及び負傷・疾病を予防するとともに、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系保護等に努める。
- 6)教育・訓練を通じて、自らの役割の重要性について意識を高める。

岡山事業所長 井上 隆志

## 4. 環境マネジメントシステムの状況

- |               |   |
|---------------|---|
| (1)システム構築の状況  | JIS Q 14001:2015(ISO-14001)認証<br>初回登録 2013年5月13日<br>(登録No. JCQA-E-0925) |
| (2)環境管理責任者    | 業務グループリーダー  |
| (3)環境担当部門     | 業務グループ<br>(安全衛生・環境・防災・CSR・廃棄物)<br>製造保全グループ<br>(環境・エネルギー・設備インフラ )        |
| (3)安全衛生推進会議   | 安全衛生、環境、防災に関する委員会<br>(毎月1回)   |
| (4)CSR環境委員会   | 全社委員会にて活動進捗報告<br>(毎月1回)   |
| (5)実績検討会      | 事業所全体の環境活動進捗報告<br>(毎月1回)  |
| (6)マネジメントレビュー | 環境管理責任者から、サイト経営者に環境活動進捗報告及び状況の変化を報告し対応を検討(年2回)                          |

## 5. 環境活動計画の実績及び状況

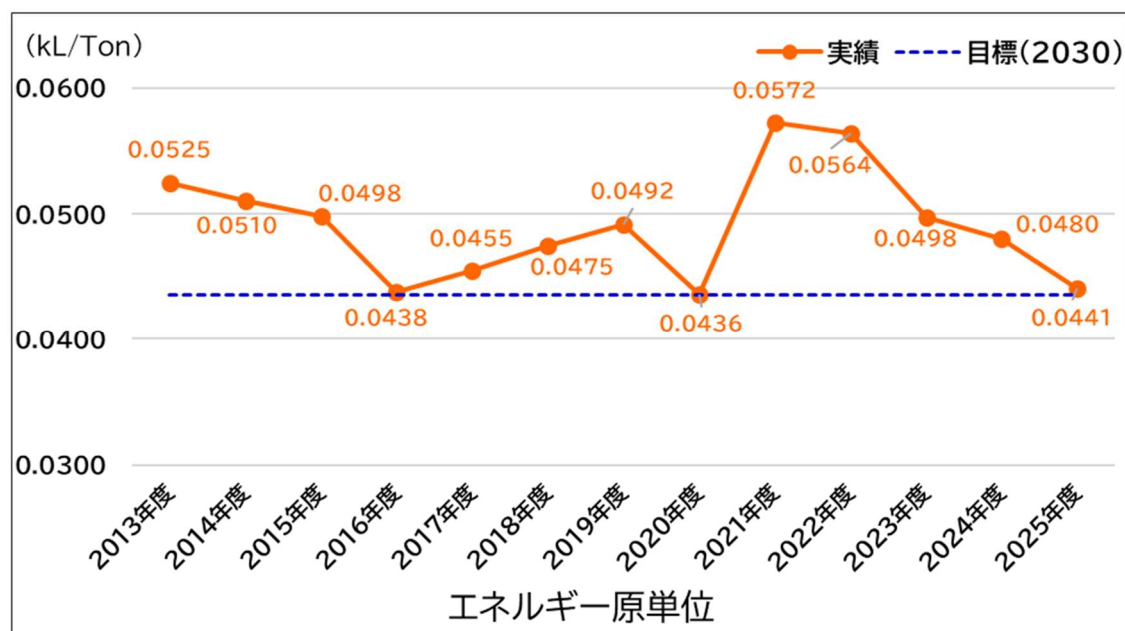
戸田工業グループでは「環境ビジョン」を策定し、グループでの環境方針を定めています。持続可能性4原則の視点から「環境経営5本柱」を特定しています。

当サイトにおいてもこの活動を推進し、より良い社会の実現の為、取組みを進めています。



### (1) エネルギー原単位の削減

2030 年度目標 2013 年度対比17%削減 目標値 0.0436 kL/Ton 以下



(実績・結果)

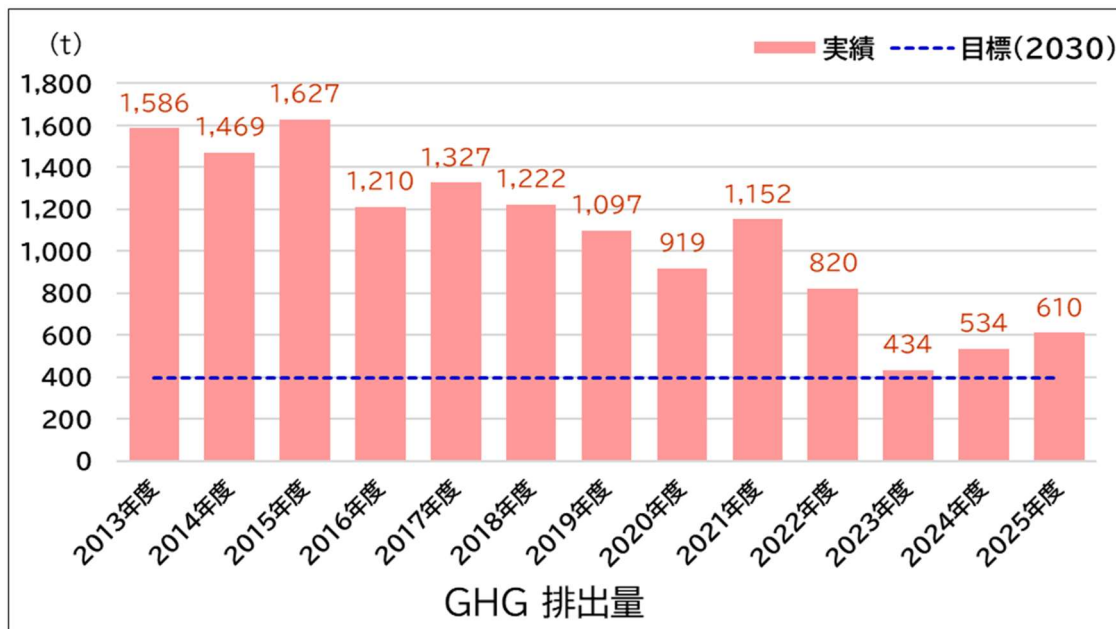
2025 年度実績 0.0441 kL/Ton

(取組み内容)

- 乾燥工程における乾燥機の熱交換器を更新(2023 年度～2024 年度)することにより、エネルギーコストを大幅に削減しています。
- 蒸気ドレン回収、熱エネルギー再利用の活動を推進し効果が出てきています。
- 電力の低減活動(こまめな節電・効率運転の意識)の意識啓発を継続しており、定着してきています。

## (2)GHG 排出量の削減

2030 年度目標 2013 年度対比 75%削減 目標値 396t 以下



(実績・結果)

2025 年度実績 610t

(取組み内容)

- 非化石電力から通常電力へ切替えを行なったことにより若干悪化しましたが、効率稼働を意識した生産活動を推進することにより抑制できています。
- ボイラーの蒸気ドレンを回収し、再利用できるように改善しています。

### (3)産業廃棄物削減

廃棄物量 2030 年度目標 2013 年度対比 30%削減 目標値 116t 以下



(実績・結果)

2025 年度実績 廃棄物量 94t(目標クリア 達成率:123%)

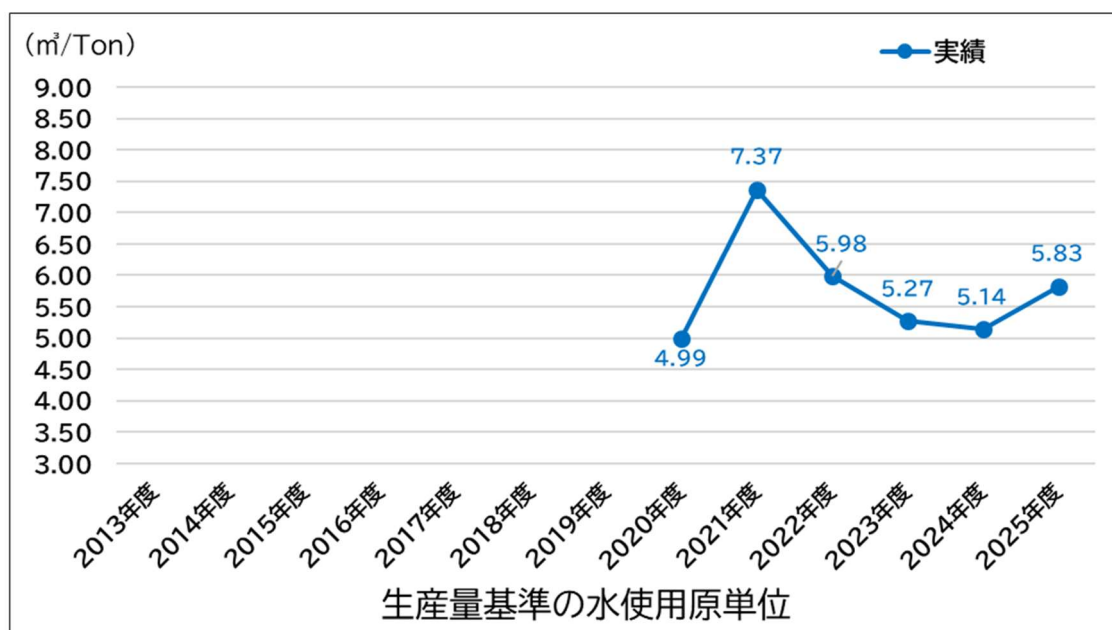
(取組み内容)

- 再資源化が可能な処理方法の検討や業者選定を進めています。
- 廃棄粉を減らす為に、原単位の改善活動、廃棄粉の分別方法を見直し、使用可能な材料を増やし、廃棄粉発生を抑制する仕組みを構築しています。
- 使わなくなった木製パレットのリユースの促進を地域企業と会話し、有効な資源活用を実現しています。
- 鉄屑類の分別を強化することにより、鉄スクラップの有償引取量を増やし、廃棄物量の減らすことに成功しています。

## (4)水の管理

当サイトで使用する水の使用量を監視しており、原単位向上への取組みを進めています。

2025 年度目標 5.05 m<sup>3</sup>/Ton 以下



(実績・結果)

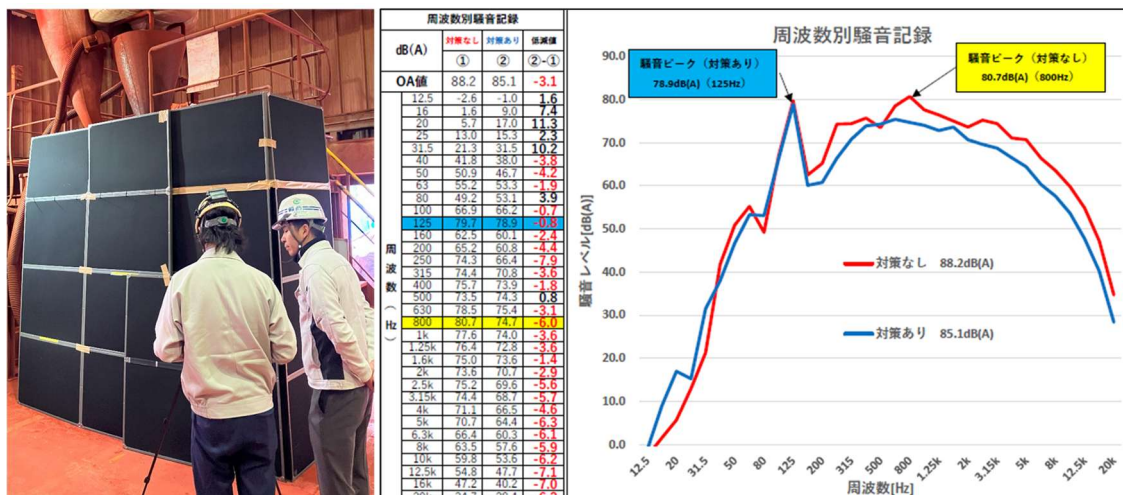
2025 年度実績 水使用原単位 5.83 m<sup>3</sup>/Ton

(取組み内容)

- 工程内で使用する水を再利用し、生産に使用できるように努めています。
- 冬場の工程凍結対策を改善し、節水に寄与できる改善を行なっています。
- 揚水のポンプアップを自動制御できるように改善し、節水できるよう改善しています。

## (5)騒音の管理・改善活動

年2回行われる作業環境測定にて各所で騒音測定を実施しています。管理区分Ⅱ以上の結果になった箇所については、音を可視化して原因を特定、最も効果が期待できる方法を採用し、作業環境の改善を行なっています。



## (6)有機溶剤のばく露低減活動

品質保証グループでは、製品検査に使用した容器を洗浄するために有機溶剤を使わないと汚れが落ちず、作業者の安全と健康被害が長年の課題となっていました。

今回、有機溶剤を使用しない洗浄方法を考案し実用化に成功しました。改善後は当該作業における有機溶剤の使用がなくなり、安全で衛生的な作業に切り替えることができました。



## 6. 環境に関する規制遵守の状況

当サイトでは、2025年度、環境関連法規制の違反はありません。

当サイトで管理している主な環境関連法規制は以下のとおりです。

法律等の名称	対応・遵守状況
環境基本法	基本法として管理しています。
生物多様性基本法	基本法として管理しています。
大気汚染防止法	当サイトは国法の規制は受けませんが、大気関係のあらゆる規制を遵守しています。
水質汚濁防止法	当サイトの排水総量は最大 530 m <sup>3</sup> /日であり、水質関係のあらゆる規制を遵守しています。
瀬戸内海環境保全特別措置法	当サイトは瀬戸内海に面しており、適用を受け、遵守しています。
騒音規制法	当サイトは国法の規制は受けませんが、敷地境界での騒音値を監視しています。
振動規制法	当サイトは国法の規制は受けませんが、敷地境界での振動を監視しています。
岡山市環境保全条例	大気・水質・騒音・振動について規制遵守しています。
化学物質排出把握管理促進法	排出量の把握、管理、抑制、報告をしています。
労働安全衛生法	安全管理者・衛生管理者を選任し、月例の安全衛生委員会会議を開催しています。また特定化学物質、有機溶剤、ボイラーの取扱作業主任者を選任し、安全衛生教育、作業環境測定、健康診断等いずれも適正に実施しています。
毒物及び劇物取締法	毒劇物を有しており、適切な管理を行っています。
高圧ガス保安法	当サイトでは第二種貯蔵所を有している為、高圧ガス取り扱い責任者を選任して安全を期しています。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処理責任者及び特別管理産業廃棄物責任者を選任し、廃棄物を適正に処理しています。
フロン排出抑制法	定期的にフロン機器を点検し、購入時から廃棄するまで管理体制を確立し適正に運用しています。

## 7. グリーン調達への取組み

戸田工業グループの「持続可能な調達」にグリーン調達を掲げており、業務グループを中心に取り組んでいます。

原料中に含まれる環境有害化学物質の管理をサプライヤーに要請し、サイト内でも実測管理を行なっています。

輸送業者に対しては環境に関する指導を行いアイドリングストップ運動等の活動を積極的に推進しています。

事務用品、工場備品については、エコ商品を積極的に購入しています。

あわせて「責任ある鉱物調達」を定め、取引先の皆様の協力も得ながら、環境や人権に配慮した調達活動を行っています。

## 8. 緊急事態への対応

環境に影響に与える可能性のある潜在的な緊急事態及び事故を特定し、その対応を「防災規定」で定めています。緊急事態が発生した場合に迅速に対応するため、「緊急事態対応手順」を用いて、各リスクに対する訓練を年1回以上行なっています。

赤水流失防止訓練 2025年6月18日



濃硫酸の漏洩事故想定訓練 2025年10月30日



総合防災訓練(震度5強の地震想定) 2025年11月21日



## 9. 地域との交流

当サイトでは、地域貢献活動を行っています。

### 近隣福祉施設へのアルミ缶の提供

当サイトで排出されたアルミ缶を福祉施設へ提供しています。

### ペットボトルキャップの収集(エコキャップ活動)

当サイト内で排出されたペットボトルキャップを収集しています。収集したキャップは収集団体を通じ、再生プラスチック原料として換金され、医療支援や障がい者支援、子供たちの環境教育など様々な活動に役立てられています。

### 地域貢献活動の継続

当サイトのある建部町小倉地区では、地域住民の皆さまと共同で、清掃活動を行なっています。当該地域の高齢化や過疎化の進行もあり、当サイトが ISO-14001 を取得した 2013 年から地域住民の皆さまと共同で清掃活動を行なっています。

活動後は、清々しい気持ちで地域住民の皆さまと笑顔で労い合い、解散することが定例となっています。

地域清掃活動: 2025 年 12 月 10 日



以上